

Operation Manual

Operation Manual

取扱説明書

キャリア ATF-220N-5

型式記号：ATF-220N-5.1
適用製造番号：GB0224 ~

この取扱説明書を読んでから操作してください。
この取扱説明書はいつでも読めるよう、運転室内に保管してください。

取扱説明書

ATF-220N-5.1(C)_OM2-14J

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

事故を防止するためには危険予知が大切です。

管理者・作業従事者は作業に潜在する危険を認識し、それに対する適切な対策を講じてください。

あなたにとって最も重要な義務は、あなた自身や共同作業員、周囲の人の安全を確保することです。

本書中のイラストが実物と異なる場合がありますが機能や操作は同じです。

本機の一部または全部を複製、編集、複写、配布するときは、タダノの書面による承認がある場合にのみ許可されます。

タダノの承認を得ないいかなる種類の複製、配布、またいかなる形においてのデータの複写も著作権の侵害となります。

機械の改良、または安全水準の向上のために、本書の内容が予告なく変更されることがあります。

本書に関して疑問な点がありましたら、タダノ支店、営業所にご連絡ください。

本書は製品の一部です。本機を譲渡するときは、本書およびメンテナンスノートも次の所有者にお渡しください。

方向の表現

前進：キャリヤ運転室側を先頭に走行

後退：キャリヤのテールランプ側を先頭に走行

本機の前・後・右・左とは、キャリヤ運転室とブーム先頭が同じ側にある状態を基準としています。「前」とはキャリヤ運転室側のことです。

キャリヤ運転室内の前・後・右・左とは、キャリヤ運転室のみを基準としています。つまり、キャリヤ運転室側が常に「前方」になります。

クレーン運転室内の前・後・右・左とは、上部旋回体のみを基準としています。つまり、ブーム先端の方向が常に「前方」になります。

オプション

オプション、および特別装置には「*」を付けています。

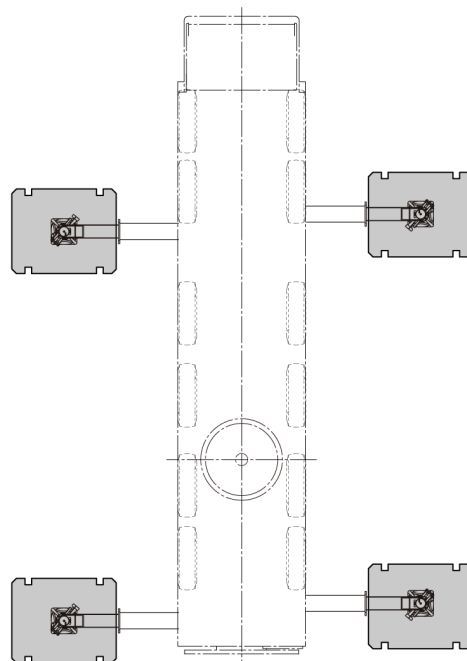
10.7.3	各部の名称	240
10.7.4	フットブレーキ操作	241
10.7.5	パーキングブレーキ操作	241
10.7.6	ブレーキをかけ続けるには	243
10.7.7	ABSのオフロードモード操作	246
10.8	クルーズコントロール操作	247
10.9	サスペンション操作	250
10.9.1	安全上の注意	250
10.9.2	各部の名称	251
10.9.3	傾斜調整	252
10.9.4	走行用の車高調整	253
10.10	構内移動	254
10.10.1	安全上の注意	254
10.10.2	各部の名称	255
10.10.3	構内移動するには	256
10.10.4	主巻フックを構内移動用に格納	258
10.10.5	主巻フックをキャリヤ運転室前側から取り出し	259
10.10.6	つり荷走行	259
10.10.7	構内移動時の軸重	261
10.11	本機の駐車	266
10.11.1	安全上の注意	266
10.11.2	本機の駐車	266
11	冬期の走行	267
11.1	安全上の注意	267
11.2	エンジン	268
11.2.1	燃料	268
11.2.2	エンジンオイル	268
11.2.3	クーラント	268
11.2.4	AdBlue	268
11.3	油圧系	269
11.4	トランスミッション	270
11.5	ウォッシャー装置	270
11.6	タイヤチェーン	270
12	特別装置	271
12.1	ブレーキエア低圧警報ブザー	271
13	トラブルシューティング	272
13.1	本章の見方	272

7	右コンビネーションスイッチ	ステアリングコラムのスイッチ [▶ 60 ページ]
8	メーターパネル	キャリヤ運転室内のメーターパネル [▶ 51 ページ]
9	側方クリアランスランプ	灯火類 [▶ 47 ページ]
10	シフトレバー	シフトレバーとシフトスイッチ [▶ 62 ページ]
11	特殊ステアリングパネル	特殊ステアリングパネル [▶ 63 ページ]
12	ミラー調整ノブ	バックミラーの調整 [▶ 154 ページ]
13	パーキングブレーキ	パーキングブレーキ操作 [▶ 241 ページ]
14	メインディスプレイ	メインディスプレイの操作 [▶ 99 ページ]
15	メインディスプレイコントローラ	操作装置の位置 [▶ 103 ページ]
16	タコグラフ	タコグラフ [▶ 64 ページ]

1.3 作業時の注意

- 敷板を敷いて設置する

敷板を敷かないで機械を設置すると、地盤が沈下する恐れがあります。アウトリガを設置するときは、ジャッキフロートの下に敷板を敷いてください。

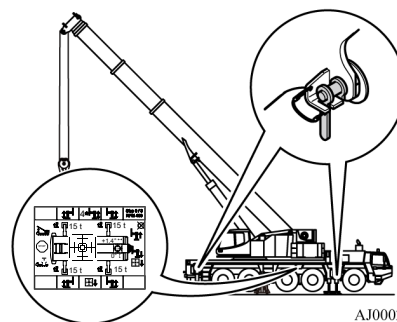


AJ00027-0

- アウトリガ設置状態を確認する

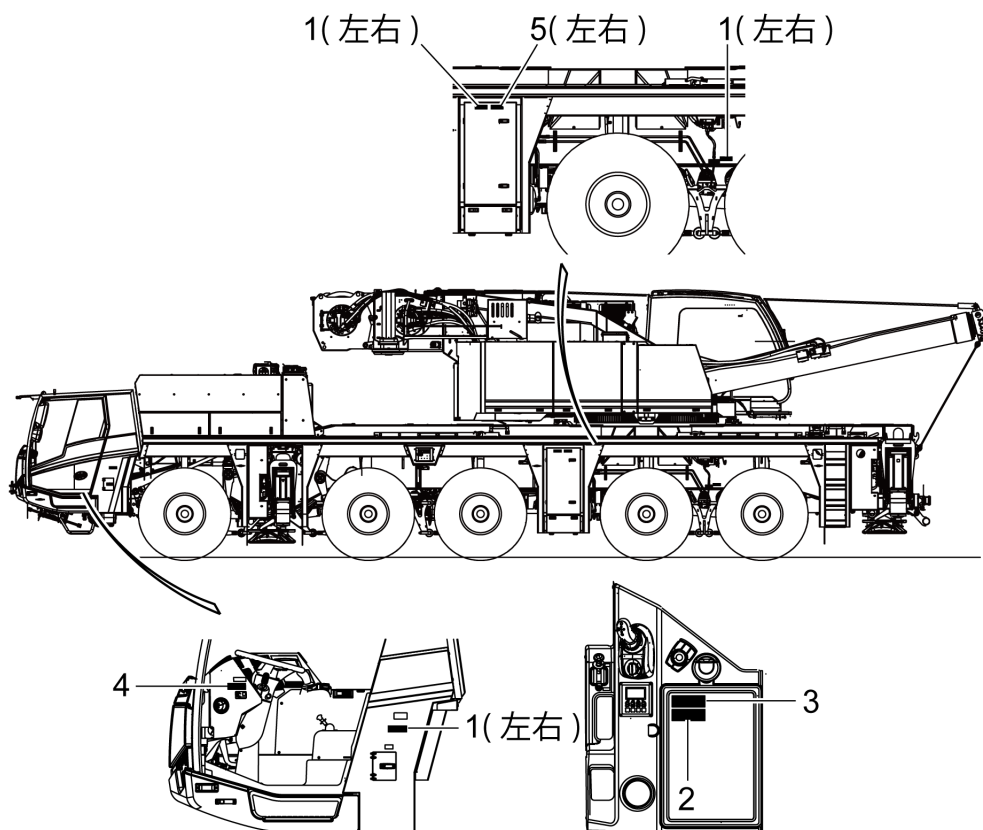
アウトリガの設置状態が悪いと、転倒事故の原因になります。特に次のことを実施および確認してください。

- 機体が水平に設置されていること。
- アウトリガフロートが敷板に接地していること。
- すべてのタイヤが地面から離れていること。
- アウトリガビームがロックピンで固定されていること。



AJ00029-0

2.1 ラベル位置と警告内容




AJ10229-0


1. **⚠️ 危険** 挟まれ危険 (6カ所)
2. **⚠️ 警告** サスペンション操作時注意
3. **⚠️ 警告** 一般取り扱い注意
4. **⚠️ 警告** ホイールナット締付トルク注意
5. **⚠️ 警告** 配管分解禁止 (2カ所)

表示アイコンおよび警告アイコン


安全上の注意

	⚠ 警告
	<p>赤い警告灯が点灯したら、事故または車両の損傷の恐れ</p> <p>メーターパネル上で赤い警告灯が1つでも点灯していたら、事故や本機の損傷の恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 交通の流れを考慮しながら、なるべく早く安全な場所に本機を停車し、エンジンを停止してください。2. 故障の原因を突き止め、ただちに修理してください。3. 修理が終わるまでは本機を操作しないでください。


方向指示表示灯

-  点滅していれば、方向指示灯が作動しています。
点滅速度が速ければ、方向指示灯に不具合があります。


トランスミッション故障警告灯

-  トランスミッションが故障していることを示します。
半ドア時にも点灯します。


エンジン故障警告灯（緊急）（赤色）

-  エンジンに重大な故障が発生していることを示します。

エンジン故障警告灯（黄色）


-  エンジンに軽微な故障が発生していることを示します。

AdBlue警告灯

-  点灯していれば、AdBlueの量が不足または、AdBlueの品質に異常があります。
点滅していれば、エンジン作動制限が開始しています。

詳細は[排出ガス浄化システム（SCRシステム）](#) [【▶ 94 ページ】](#)を参照してください。

エンジン作動制限警告灯

-  点灯していれば、エンジン作動制限が開始しています。
点滅していれば、エンジン作動に大幅な制限がかかっています。

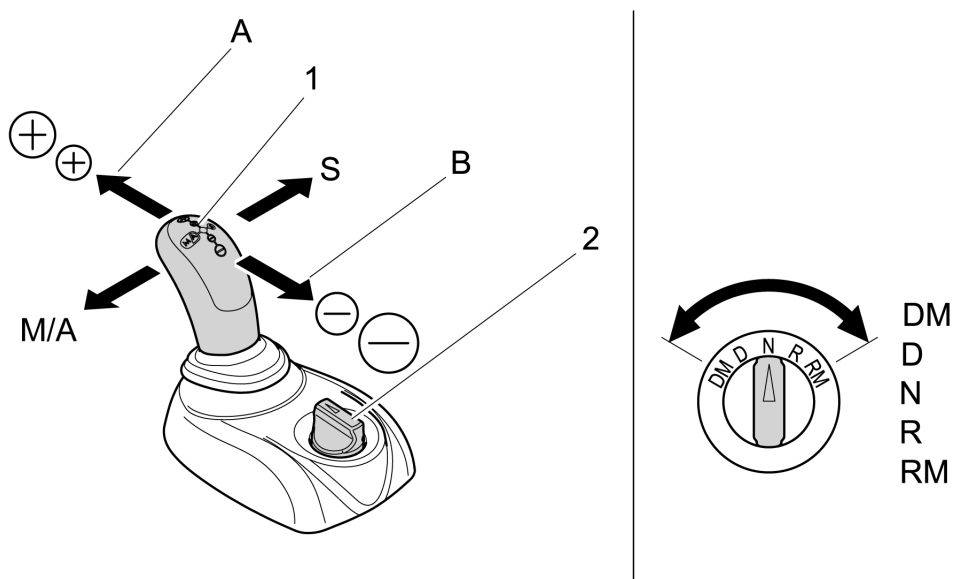
詳細は[排出ガス浄化システム（SCRシステム）](#) [【▶ 94 ページ】](#)を参照してください。

ブレーキエア低圧警告灯

-  走行中に表示されたら、ブレーキ用のエア圧が低下しています。

4.4 シフトレバーとシフトスイッチ

各部の名称

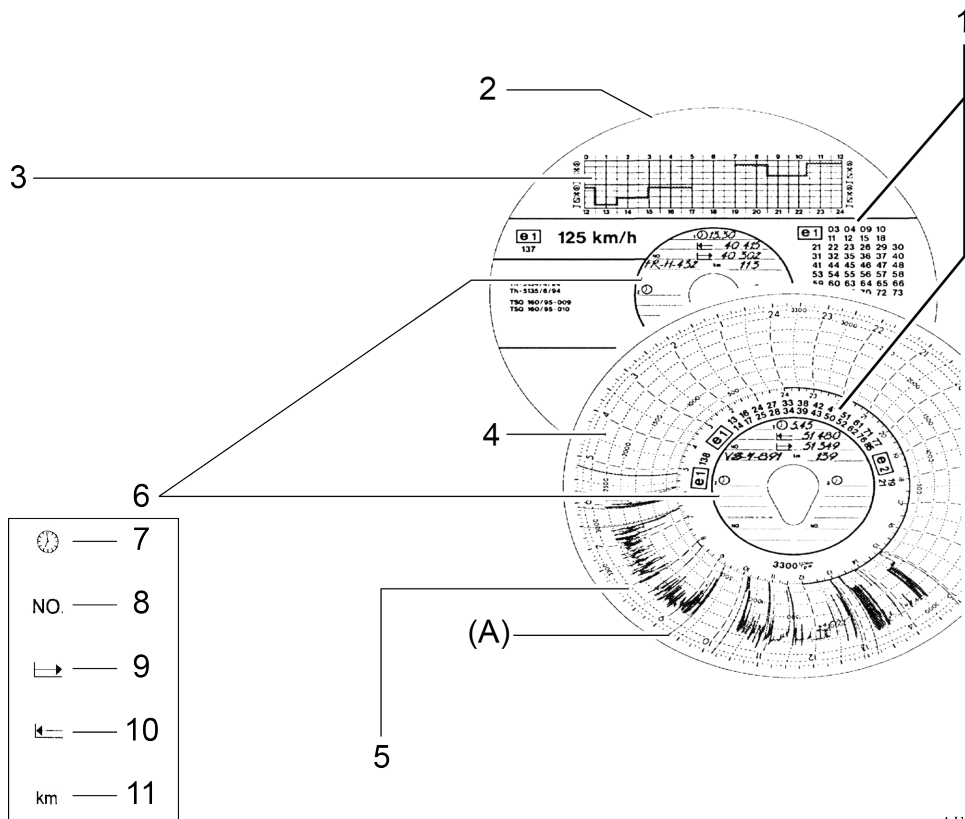


AJ10291-0

1	シフトレバー	DM	前進低速モード
2	シフトスイッチ	D	前進
A	シフトアップ 1回押す：1速上げ 止まるまで押す：2速上げ	N	ニュートラル
B	シフトダウン 1回引く：1速下げ 止まるまで引く：2速下げ	R	後進
M/A	マニュアル/オートマチック切替	RM	後進低速モード
S	— (不使用)		

4.6.5 記録紙の裏側

ECC タコグラフは、エンジン回転数記録なし／ありの2種類の記録紙があります。



AJ100015-0

1	認定マーク(*1)	7	乗り換えの時刻
2	エンジン回転数記録なし	8	新しい車の登録番号
3	時間グループ記入欄(*2)	9	走行開始時のオドメーターの値 (走行距離)
4	エンジン回転数記録あり	10	走行終了時のオドメーターの値 (走行距離)
5	エンジン回転数記録 (オプション) (*3)	11	走行距離
6	中央記入欄		

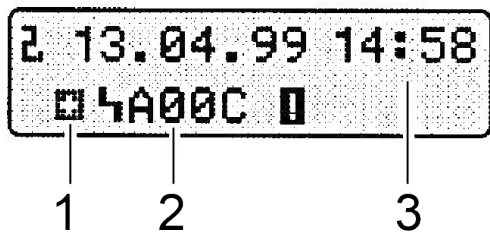
(*1): 記録紙の認定番号と、使用できるタコグラフの情報を記載しています。

(*2): 次のように時間グループを手書きするときを使用します。

- 乗員が車両から離れて作業しており、タコグラフを操作できない。
- 時間グループ記録機構が故障している。

(*3): 正確な回転数がドライバー1用の記録紙の裏側に記録されます。

参考：エンジン始動/停止スイッチのON/OFFを行うと、マーカー (A) が表示されます。



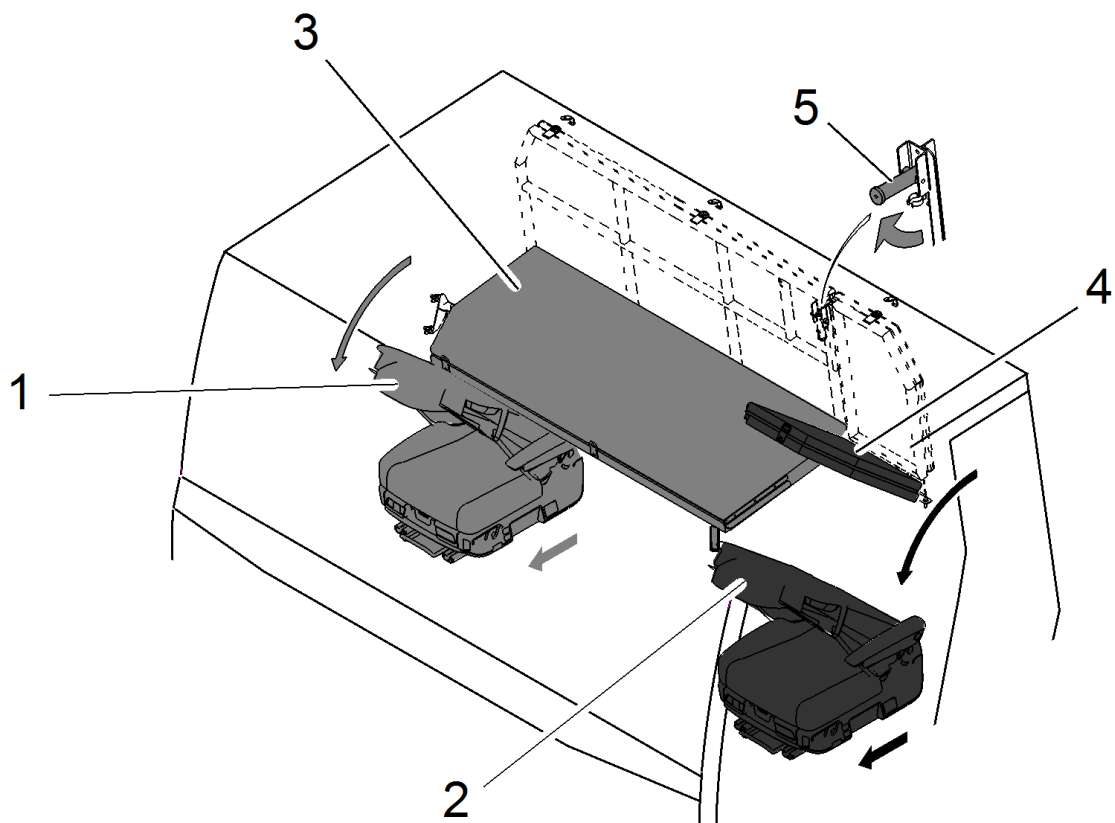
AJ10024-0

1	他にもメッセージあり	3	エラー開始時刻
2	マークとエラーコード		

1. **M**キーを2度短く押します。
⇒ エラーメモリメニューが表示されます。
2. 他にもエラーが発生している場合、**+**か**-**を押します。
⇒ 他のエラーが表示されます。
3. **M**キーを2秒以上押します。
⇒ 基本画面が表示されます。
参考：20 秒間キー操作がない場合も、基本画面が表示されます。

仮眠ベッドは、走行中は上げてストラップで固定してください。

使用時



15409

1	助手席	4	仮眠ベッド延長部
2	運転席	5	ベッドホルダー
3	仮眠ベッド本体		

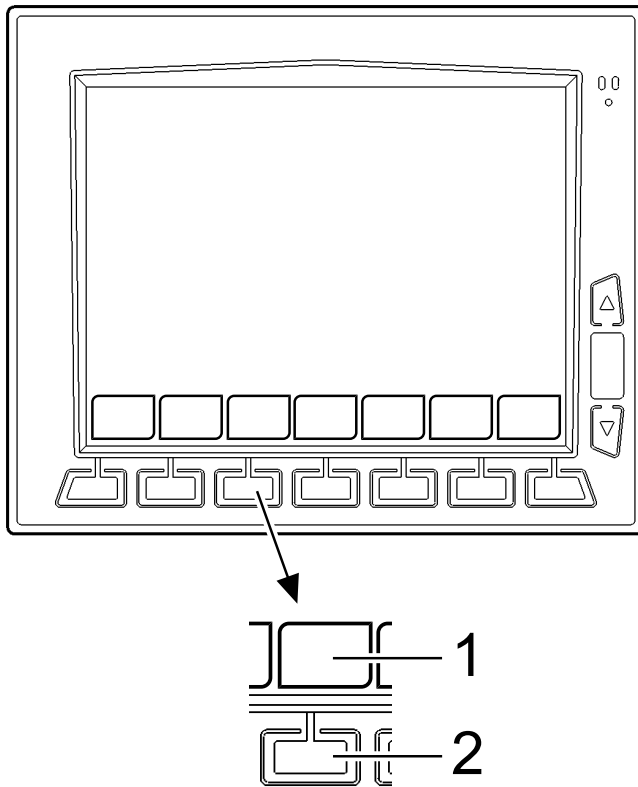
仮眠ベッド本体を出す

➤ 仮眠ベッドの本体と延長部が上げられていてストラップで固定されていること。

1. 助手席を前方いっぱいにして、背もたれを前に倒します。
2. ベッドホルダーを出します。
3. 仮眠ベッド本体からストラップ2本を外し、本体を下ろします。

⇒ 仮眠ベッド本体が出ました。

メインディスプレイの操作部



1	メインディスプレイ上のボタン	2	フレーム上のボタン
---	----------------	---	-----------

メニュー選択はフレーム上のボタン、またはメインディスプレイ上のボタンでできます。

クルーズコントロールアイコン



クルーズコントロールがONで有効であることを示します。

ブーム未格納アイコン



ブームがブームレストに納まっていないことを示します。

アクスル揺動アイコン



アクスル揺動がONになっていることを示します。

シフトアップ制限アイコン



シフトアップに制限がかかっていることを示します。

参考：シフトアップは3速までしかできません。

サスペンションロックアイコン



黄色で表示されていれば、サスペンションがロックされています。

青色で表示されていれば、サスペンションロック作動中です。

水平調整アイコン



黄色で表示されていれば、水平調整が完了しています。

青色で表示されていれば、水平調整作動中です。

ハイビームアイコン



ヘッドランプがハイビームになっていることを示します。

リターダアイコン



表示されていれば、リターダが作動します。

点滅していれば、リターダの不具合です。

集中給脂警告アイコン



集中給脂装置に不具合があることを示します。

アクスル保持アイコン



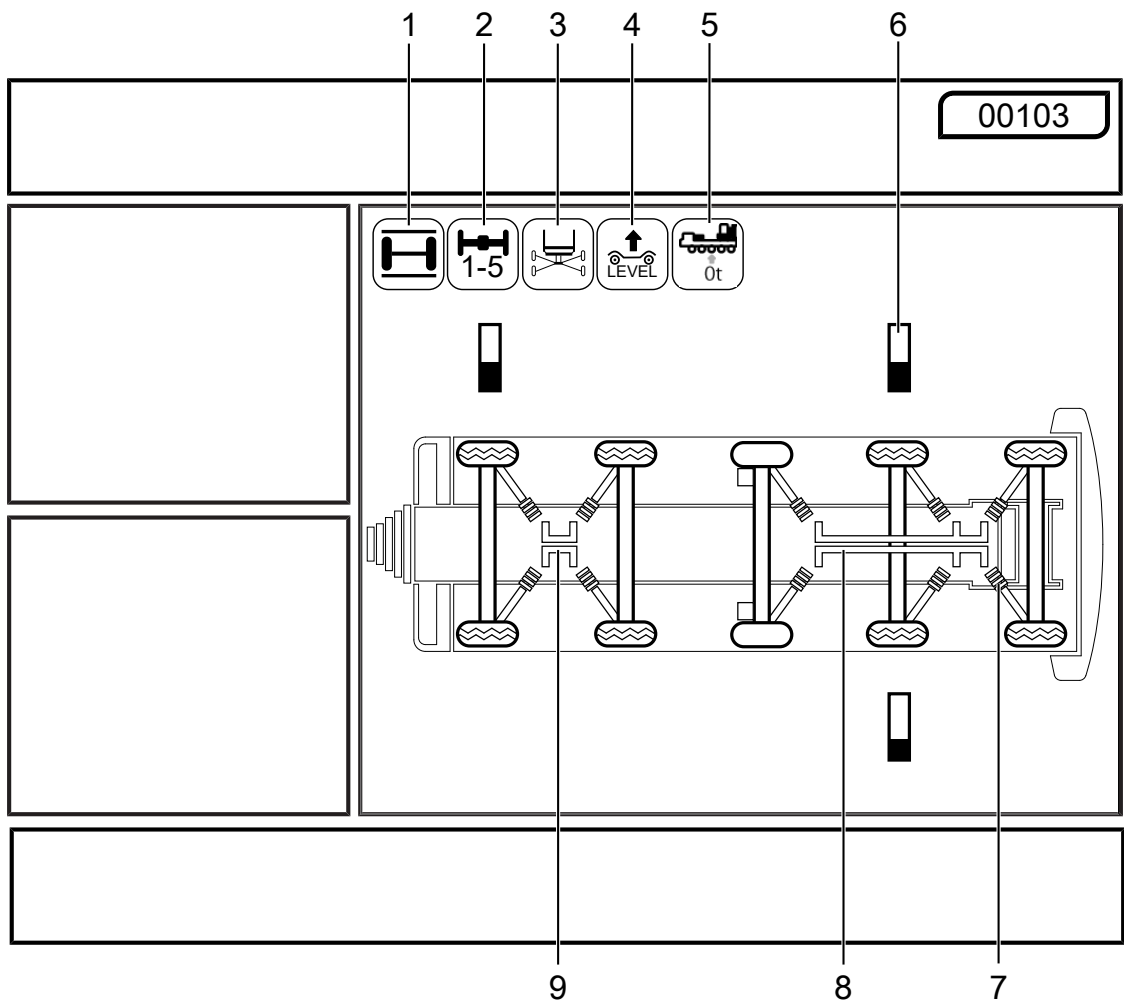
点灯していれば、アクスルは現在の位置で保持されています。

ABS警告アイコン



点滅していれば、ABSがオフロードモードになっています。

各部の名称



1	サスペンションロックアイコン	6	サスペンションシリンダ状態アイコン 黄：本機が水平でない 水色：本機が水平
2	アクスル保持アイコン	7	個別サスペンションロックアイコン 黄で中に線なし：ロック 水色で中に線あり：ロック解除
3	アクスル揺動アイコン	8	3軸フリー表示 非表示：3軸の圧が抜けている
4	サスペンションレベリングアイコン	9	アクスル揺動アイコン 黄：揺動可能 水色：揺動不可
5	3軸フリーアイコン		

参考：表示アイコンや警告アイコンは事象の発生順に表示されます。

詳細は [メインディスプレイコントローラの機能キーへの機能割り当て設定](#) [▶ 135 ページ] を参照してください。

輝度メニュー



画面の輝度を変えます。

詳細は [輝度設定](#) [▶ 137 ページ] を参照してください。

実行ボタン

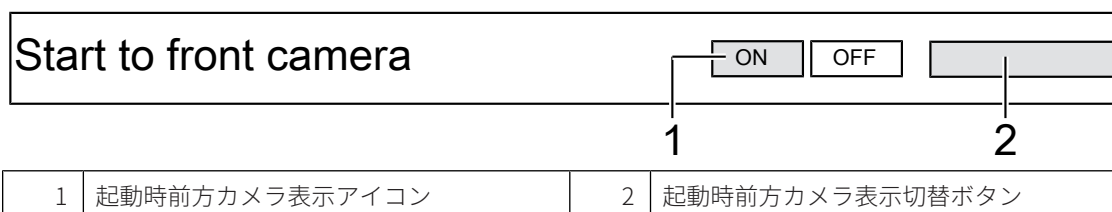


ボタンを押すと、選択結果が保存されます。

変更を加えた項目は必ず実行ボタンで変更結果を保存してください。

5.12.1 起動時前方カメラ表示設定

各部の名称



表示機能

起動時前方カメラ表示切替ボタン



ボタンを押すと、起動時に前方カメラを表示するON/OFF設定ができます。

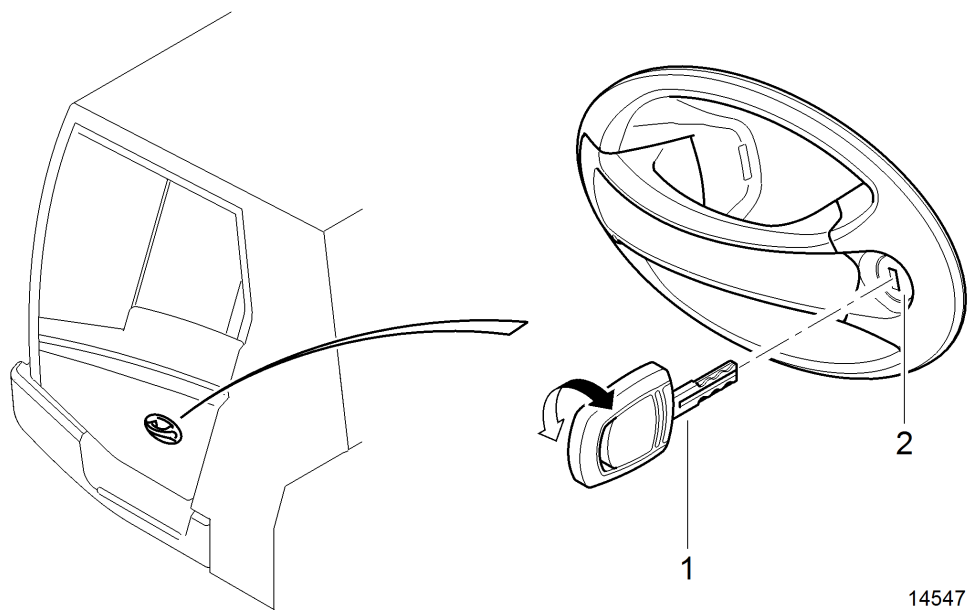
起動時前方カメラ表示アイコン



起動時前方カメラ表示のON/OFF設定の状態を表示します。

ONになっていれば、メインディスプレイを起動するとメニュー部に前方カメラからの画像が表示されます。

ドアを解錠/施錠する



1	イグニッションキー	2	キー穴
---	-----------	---	-----

解錠

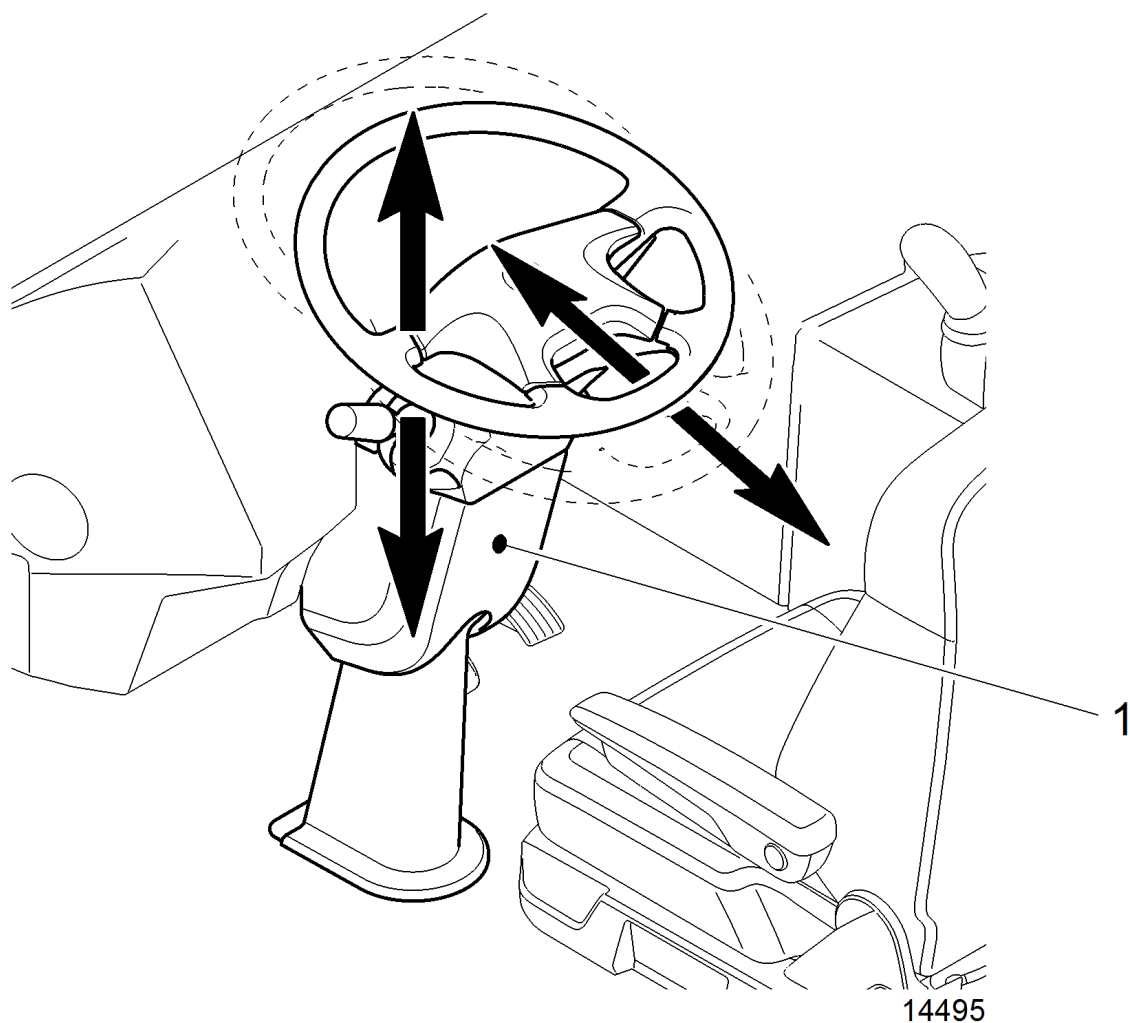
1. キー穴にイグニッションキーを差し込み、左（反時計回り）に回します。

⇒ ドアが解錠されました。

施錠

1. キー穴にイグニッションキーを差し込み、右（時計回り）に回します。

⇒ ドアが施錠されました。



1	ハンドルスイッチ
---	----------

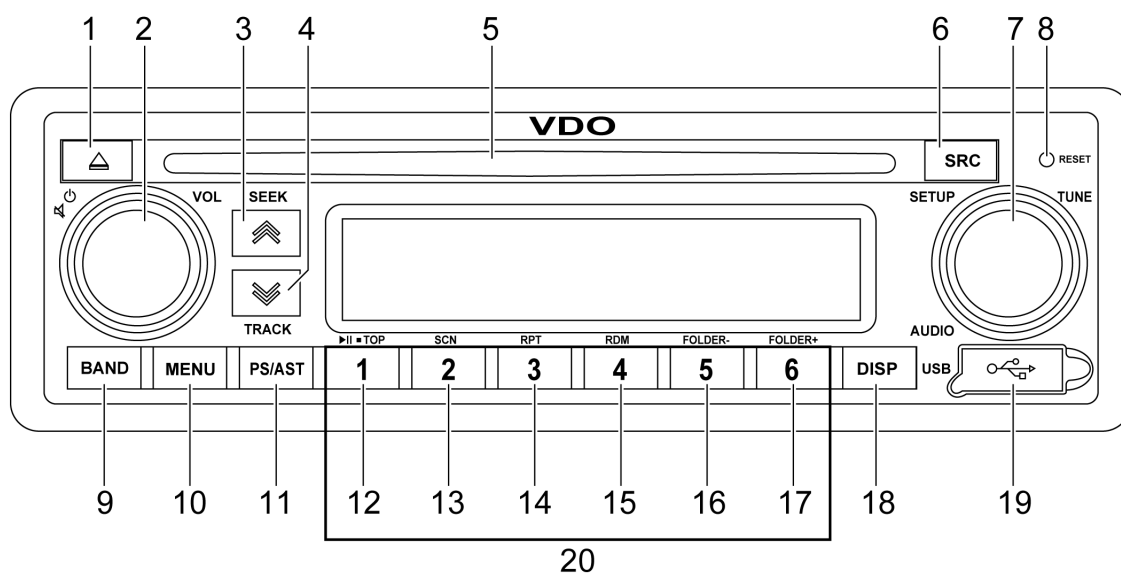
➤ 本機が停止していて、パーキングブレーキがかかっている

1. ハンドルスイッチを押します。
2. ハンドルを手で動かして、傾斜や高さを好みの位置にします。
3. 手を離してしばらくするとハンドルは自動的に固定されます。

⇒ ハンドルの調整ができました。

7.1.9 ラジオ

各部の名称



AJ10186-0

1	イジェクトボタン	11	PS/ASTボタン
2	電源ボタン/音量調整ノブ	12	1/START/STOP/TOPボタン
3	アップボタン	13	2/SCNボタン
4	ダウンボタン	14	3/RPTボタン
5	ディスクスロット	15	4/RCMボタン
6	SRCボタン	16	5/FOLDER-ボタン
7	TUNEノブ	17	6/FOLDER+ボタン
8	リセットボタン	18	DISPボタン
9	BANDボタン	19	USBコネクタ
10	MENUボタン	20	1-6プリセット

電源の入れ方

1. エンジン始動/停止スイッチを「ON」、またはエンジンを始動します。
2. ラジオの電源ボタンを押します。

⇒ ラジオの電源が入ります。

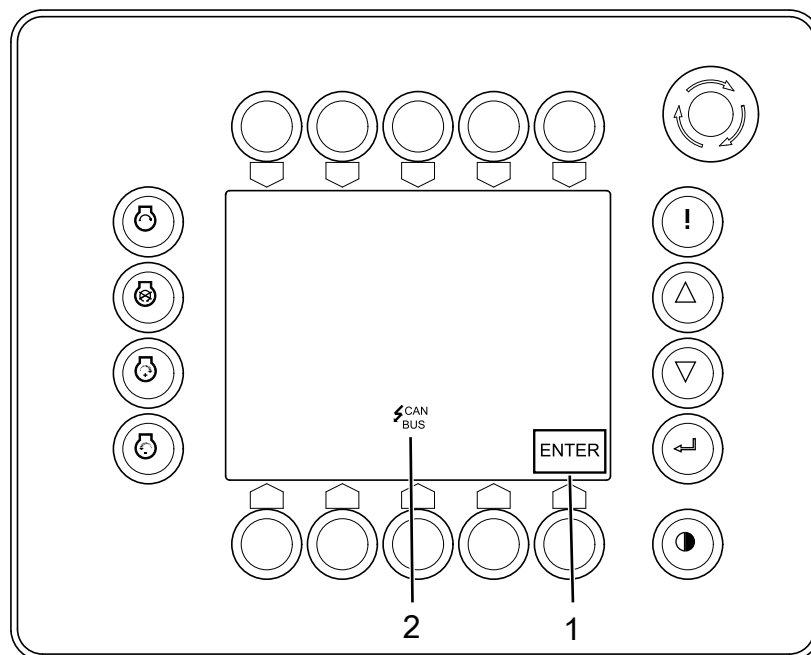
参考：電源ボタンを押した状態でエンジンを切ると、次にエンジンを始動するだけでラジオの電源が入ります。

入力切替

SRCボタンを押すと、使用可能なソースを選択します。

ラジオ→CD→MP3→USB→AUX


表示の名称



1	メニュー切替アイコン	2	エラー警告アイコン
---	------------	---	-----------

表示機能

メニュー切替アイコン

 アイコンが表示されていれば、メインメニューに切り替えることができます。

エラー警告アイコン

 警告アイコンが表示されていたら、電子機器に故障が発生しています。

アウトリガでの支持はできません。

エラーコードは、キャリヤ運転室内のメインディスプレイで見ることができます。

スイッチロックアイコン



構内移動姿勢時に前方または後方ロックピンが入っていないため、スイッチロック解除スイッチを押してもアウトリガ操作ができない状態を示します。



構内移動姿勢時にスイッチロック解除スイッチを押しながら、アウトリガ操作できる状態を示します。

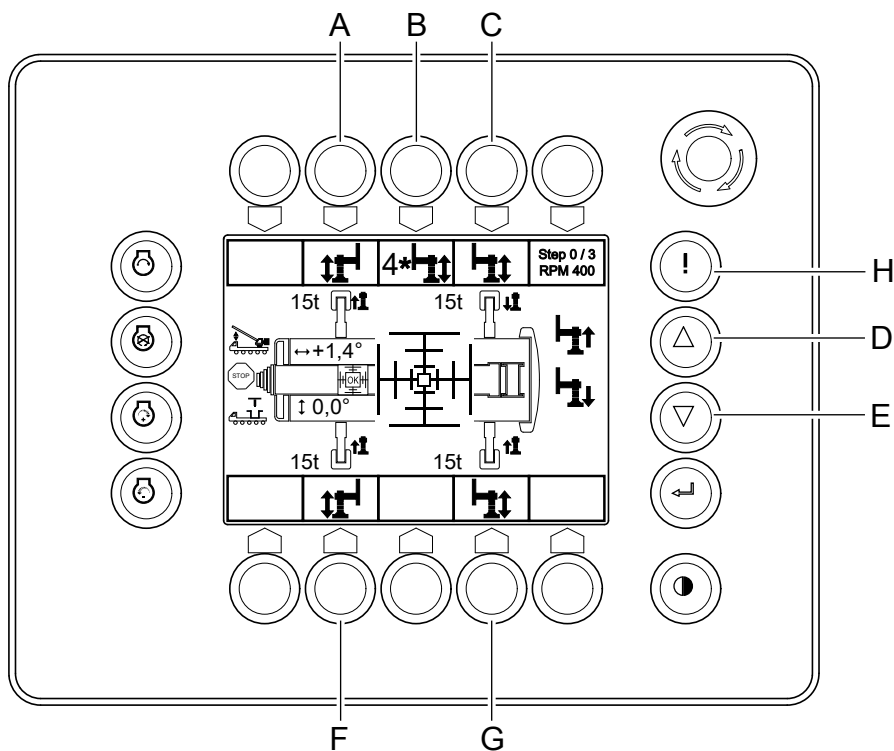
ブーム未格納アイコン



ブームがブームレスト上にありません。

8.3.6 ジャッキ操作メニュー

左操作パネルのスイッチの名称



A	右前ジャッキ選択スイッチ	E	ジャッキ張出スイッチ
B	全ジャッキ選択スイッチ	F	左前ジャッキ選択スイッチ
C	右後ジャッキ選択スイッチ	G	左後ジャッキ選択スイッチ
D	ジャッキ格納スイッチ	H	スイッチロック解除スイッチ

スイッチ機能


前ジャッキ選択スイッチ




スイッチを押すと、ジャッキを選択します。

もう一度スイッチを押すと、ジャッキの選択を解除します。


サスペンションシリンダアイコン

- 

サスペンションシリンダが伸長中であることを示します。
サスペンションシリンダスイッチが選択されると表示します。
- 


サスペンションシリンダが縮小中であることを示します。
サスペンションシリンダスイッチが選択されると表示します。

サスペンションレベリング選択アイコン

- 

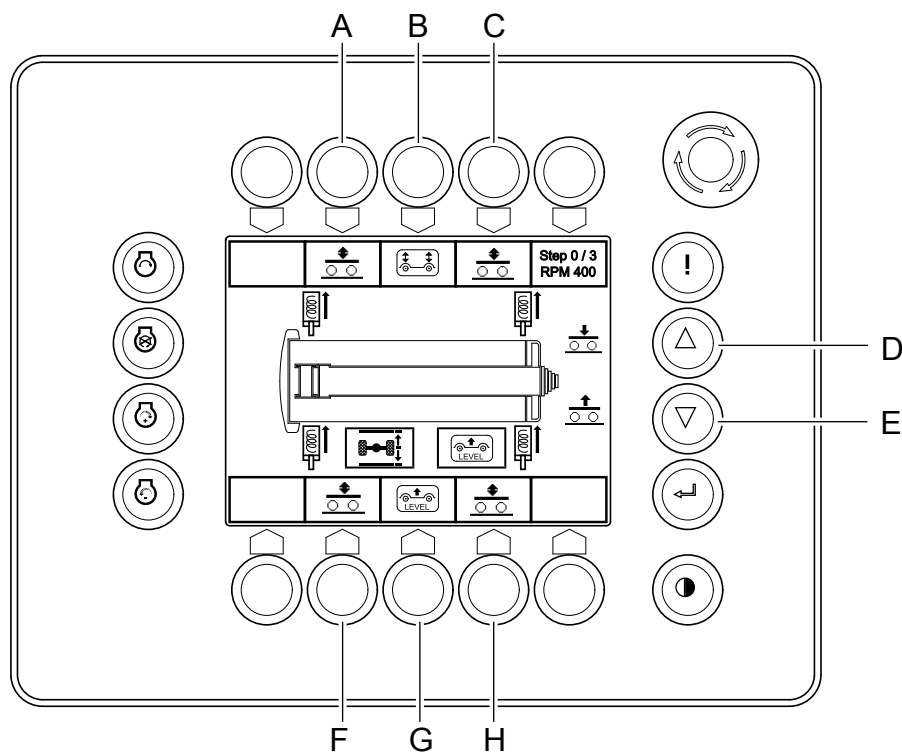
表示がなければ、クレーンが水平になっていません。
表示していれば、クレーンは水平になっています。

アクスル保持アイコン

- 

表示がなければ、アクスルは現在の位置に保持されていません。
表示していれば、アクスルは現在の位置で保持されています。



右操作パネルのスイッチの名称



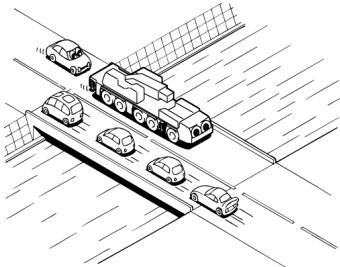
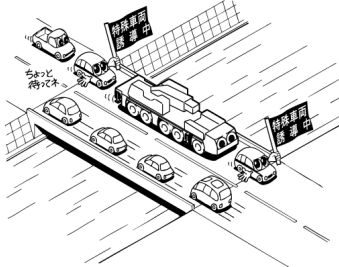
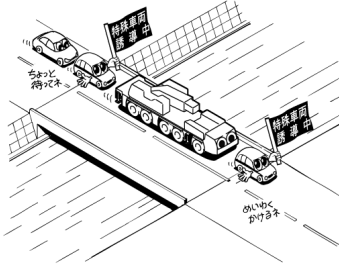
A	左後サスペンションシリンダ選択スイッチ	E	車高上げスイッチ
B	全サスペンションシリンダ選択スイッチ	F	右後サスペンションシリンダ選択スイッチ
C	左前サスペンションシリンダ選択スイッチ	G	サスペンションレベリング選択スイッチ
D	車高下げスイッチ	H	右前サスペンションシリンダ選択スイッチ

5. 本機のすべてのタイヤが地面から5 cm以上浮いていることを確認します。
水平調整の後で地面に接しているタイヤがあったときは、「アクスルを上げる」を参照してアクスルを上げてください。
- ⇒ 本機が安定し、クレーン作業ができるよう水平になりました。

アクスルを上げる

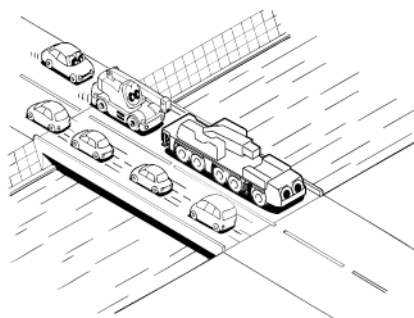
	<p style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">⚠ 警告</p> <p>アクスルの動きによる事故の恐れ</p> <p>アクスルを上げると、本機やアクスルが動き、近くにいる人が巻き込まれる死傷事故が起きる恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アクスル上げ中は、本機周りの危険区域にはアクスル上げ操作をする人以外は入らないでください。 2. 危険区域に物を置かないでください。
	<p style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px;">注記</p> <p>アクスルを上げる際に本機が損傷</p> <p>アウトリガが設置されていないときにアクスルを上げると、アクスルやサスペンションシリンダが損傷することがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アウトリガを設置していないときはアクスル上げを行わないでください。

1. 操作パネルでメインメニューを選択します。
 2. 操作パネルのアクスル上げスイッチを、すべてのアクスルが上がりきるまで押し続けます。
- ⇒ アクスルが現在の位置で保持されます。

B条件	C条件	D条件
 <p style="text-align: right;">AJ10108-0</p>	 <p style="text-align: right;">AJ10114-0</p>	 <p style="text-align: right;">AJ10115-0</p>
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 徐行 ▪ 連行禁止 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 徐行 ▪ 連行禁止 ▪ 当該車両の前後に誘導車を配置 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 徐行 ▪ 連行禁止 ▪ 当該車両の前後に誘導車を配置 ▪ 2車線内に他車が通行しない状態で当該車両が通行 <p>道路管理者が別途指示するときはその条件も付加（例：通行できる時間帯）</p>

連行禁止とは

2台以上の特殊な車両が縦列をなして同時に橋、高架の道路等の同一径間を渡ることを禁止する措置をいいます。



AJ10109-0

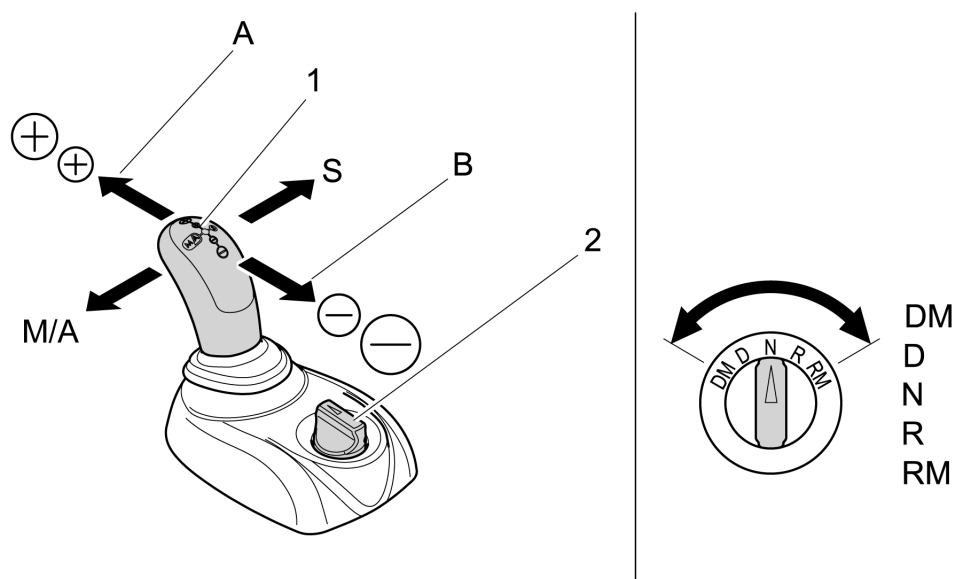
2車線内に他車が通行しない状態とは

橋、高架の同一径間上から他の車両を排除し、さらに隣接する車線の車両までも排除する措置をいいます。

高速自動車国道走行の禁止

本機は「D条件」の通行制限を受けるため、高速自動車国道を通行することはできません。

10.3.3 シフトレバー




AJ10291-0

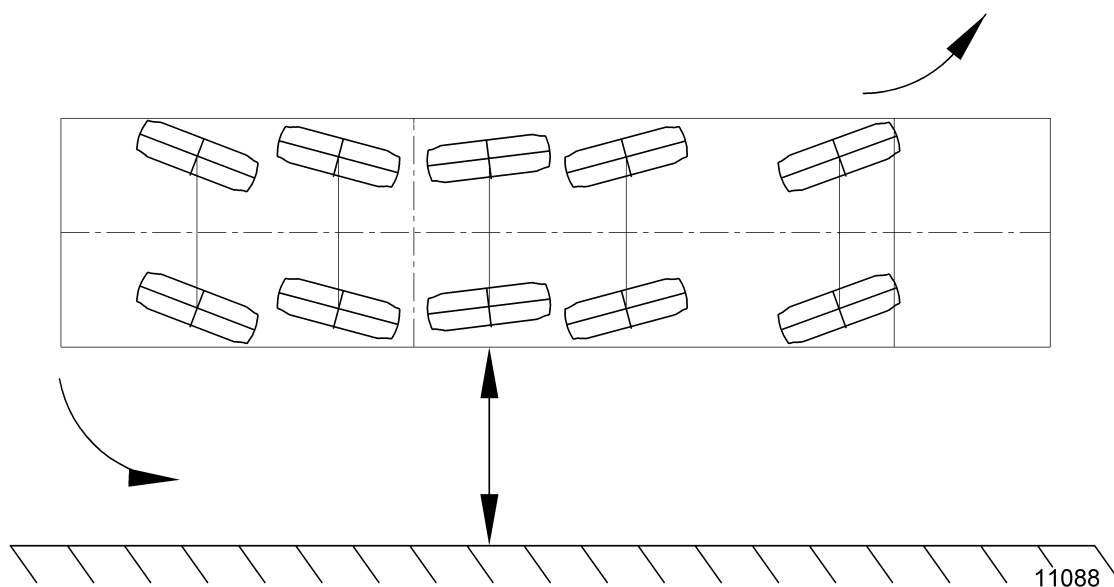
1	シフトレバー	DM	前進低速モード
2	シフトスイッチ	D	前進
A	シフトアップ 1回押す：1速上げ 止まるまで押す：2速上げ	N	ニュートラル
B	シフトダウン 1回引く：1速下げ 止まるまで引く：2速下げ	R	後進
M/A	マニュアル/オートマチックモード切替	RM	後進低速モード
S	- (不使用)		

10.4.7 障害物から離れる

安全上の注意

	⚠ 警告
	<p>障害物から離れるときに事故の恐れ</p> <p>障害物から離れるときに人や物が挟まると重傷または死亡事故の恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ステアリング角を最大にしたときは最大限の注意を払ってください。 2. 障害物から離れるときは脱出ステアリングモードまたはクラブステアリングモードにしてください。 3. 障害物にはできるだけ近づかないようにしてください。

障害物から離れる



通常ステアリングモードの場合、後輪が前輪ステアリング角と反対の方向に切れます。


CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below

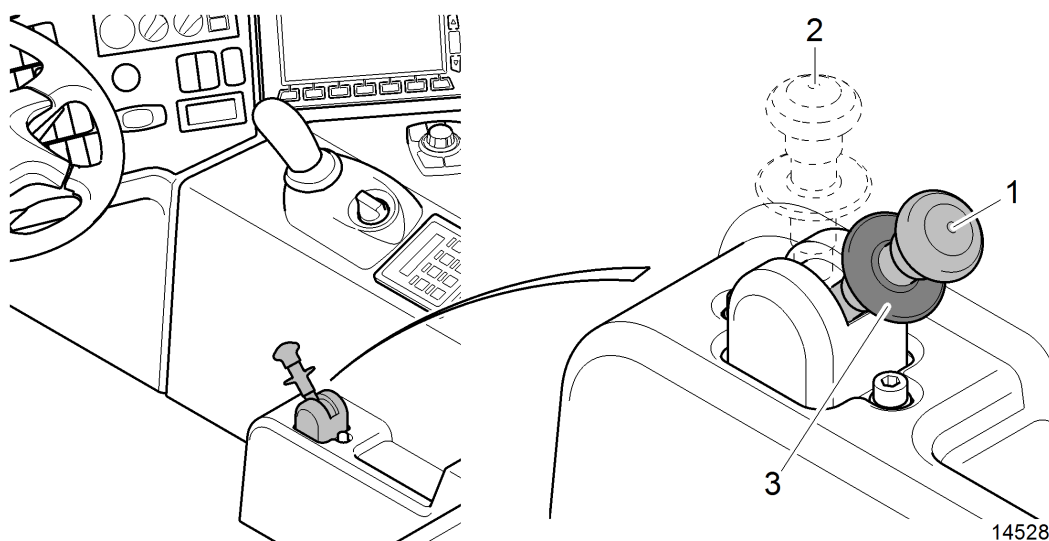


- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

	⚠ 警告
	<p>パーキングブレーキをかけたまま走行するとブレーキが過熱 フットブレーキの制動力が低下したり、本機から出火したりして、重傷または死亡事故の恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 走行前にパーキングブレーキを解除してください。 2. パーキングブレーキ警告灯が消灯するまでは走行しないでください。

各部の名称



1	パーキングブレーキ側（制動位置）	3	ノブ
2	パーキングブレーキ解除側（走行用位置）		

パーキングブレーキをかけるには

1. パーキングブレーキレバーを後方に引いて制動位置にします。制動位置になるとレバーがその位置で止まります。

⇒ パーキングブレーキがかかります。

⇒ パーキングブレーキ警告灯が点灯します。

パーキングブレーキを解除するには

1. ノブを引き上げます。
2. パーキングブレーキを前方いっぱいまで押して走行用位置にします。

⇒ パーキングブレーキが解除されます。

⇒ パーキングブレーキ警告灯が消灯します。

10.9.3 傾斜調整

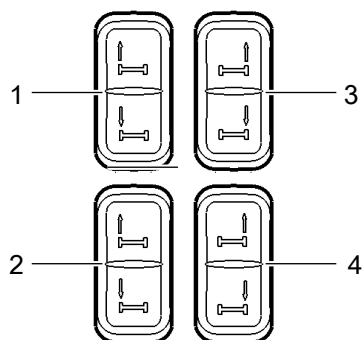
必要条件

- エンジンが始動している
- パーキングブレーキがかかっている
- シフトスイッチが「N」位置
- すべてのタイヤが直前方を向いている

サスペンションをロックする

1. サスペンションロックスイッチのロックスイッチを押し下げてロックを解除しながら、スイッチの下側を押します。
- ⇒ サスペンションがロックされ、サスペンションロックアイコンが表示されます。

本機の傾斜調整操作



1	左前サスペンションスイッチ（第1・2軸の左前）	3	右前サスペンションスイッチ（第1・2軸の右前）
2	左後サスペンションスイッチ（第3・4・5軸の左後）	4	右後サスペンションスイッチ（第3・4・5軸の右後）

車高を上げるには

1. サスペンション上げ/下げスイッチまたは車高スイッチの上側を押し続けます。
- ⇒ サスペンションシリンダが伸びます。
- ⇒ スイッチを押し続けている間、車高が上がります。

車高を下げるには

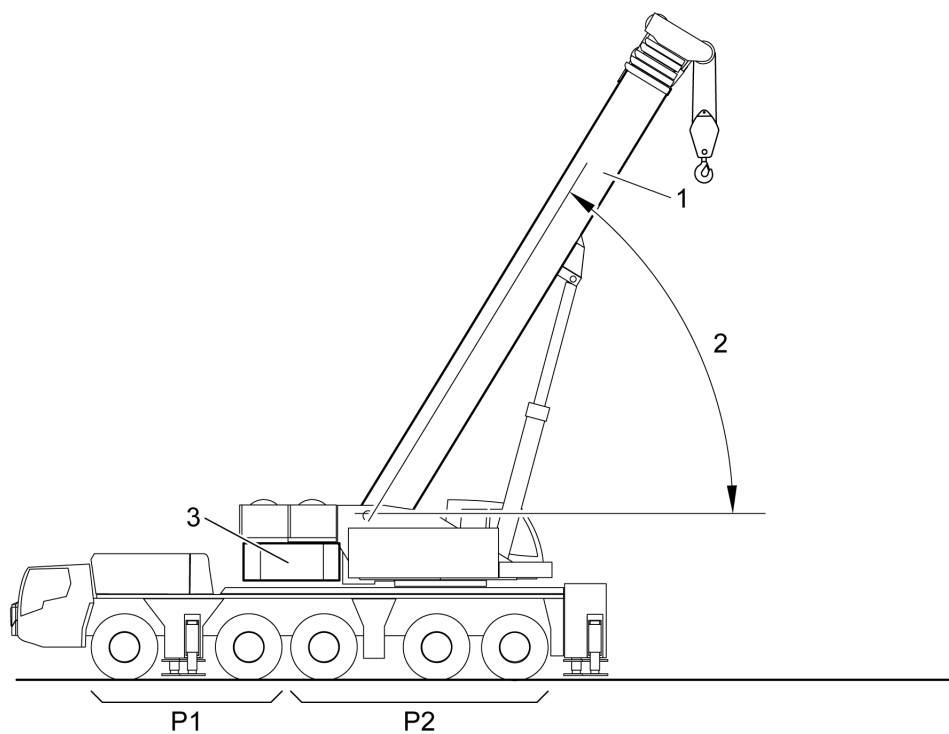
1. サスペンション上げ/下げスイッチまたは車高スイッチの下側を押し続けます。
- ⇒ サスペンションシリンダが縮みます。
- ⇒ スイッチを押し続けている間、車高が下がります。

必要条件

- 13.2mブーム
- カウンタウエイト 付き (下図はカウンタウエイト 71tの状態です)
- 旋回方向：後方
- サスペンションロック

構内移動姿勢

- 移動速度2km/h以下



AJ10331-0

1	13.2mブーム	3	カウンタウエイト
2	許容ブーム起伏角度		

13 トラブルシューティング

13.1 本章の見方

特定の機能に故障や不具合が生じたとき、下表を見て原因に対応した処置を行ってください。表を見ても不具合の原因究明や処置ができない場合は、タダノ指定サービス工場にご連絡ください。

13.2 エンジン

エンジン固有の不具合とその対策については、エンジンメーカーの取扱説明書に記載されています。

現象	考えられる原因	処置
エンジンがかからない (他の原因は、電気システムを参照)	変速ギヤが噛み合っている	シフトスイッチをN（ニュートラル）にしてください。
	バッテリーと電気機器の間の接続が切れている	バッテリーメインスイッチをONにします。
	緊急停止スイッチが押されている	緊急停止スイッチを復帰させてください。
エンジンの回転がおかしい、または出力が弱すぎる（エアクリーナ警告アイコンが表示）	エアクリーナの目詰まり	フィルタカートリッジを交換し、フィルタヘッドを清掃してください。
	吸気管に漏れがある	エアインテークに漏れや緩みがないか点検してください。ホースクランプを締め付けてください。
エンジンの回転がおかしい、または出力が弱すぎる	フューエルフィルタの目詰まり	フューエルフィルタを清掃または交換してください。
	噴射システムまたはターボチャージャの作動に不具合	タダノ指定サービス工場での点検を受けてください。
エンジンに負荷がかかっていないのにラジエータが高温	冷却フィンが汚れている	圧縮空気かスチームジェットを吹き付けてフィンを清掃してください。
	ファン駆動装置の故障	ファン駆動装置を修理してください。
	冷却水が少なすぎる	冷却水を適正量にしてください。
	冷却水サーモスタットの故障	冷却水サーモスタットを修理してください。
冷却水が少なすぎる（冷却水残量警告アイコンが表示）	冷却水ホース接続部に漏れがある	ホースクランプを締め付けてください。



現象	考えられる原因	対策
何速に入っても制動力が弱い	配線の絶縁や状態やアース接続が甘い	タダノ指定サービス工場でリターダブレーキを点検してください。
	ローターとステーターの間のバックラッシュが大きい・エアギャップが大きい・防振材が摩耗	タダノ指定サービス工場でリターダブレーキを点検してください。
ステアリングコラムのスイッチを操作していないのにリターダアイコンが出る	リターダブレーキ内の制御が不適切	タダノ指定サービス工場でリターダブレーキを点検・修理してください。

13.10 集中給脂システム

現象	考えられる原因	対策
集中給脂アイコンが常時表示される	グリースタンクが空	タンクにグリースを補充してください。
	配管やジョイントの不具合	タダノ指定サービス工場に問い合わせてください。
	集中給脂アイコンの表示エラー	タダノ指定サービス工場に問い合わせてください。

14.4 オーバーヒートしたとき

安全上の注意

	⚠ 警告
	負傷する恐れ 冷却システムには高圧がかかっています。開けると高温の冷却水が噴き出て、皮膚や目にやけどを負う恐れがあります。 ➤ 冷却水の温度が50°Cを下回るまではキャップを開けないでください。 1. キャップを開ける前に、安全手袋を着けるか布を被せ、キャップをゆっくりと緩め、高圧を完全に逃がしてください。
	注記
	冷却水が冷たすぎると熱衝撃が発生 温度が極端に低い冷却水をオーバーヒートしたエンジンに一気に入れると、エンジンが損傷することがあります。冷却水は必ず、少しずつ入れてください。 必要に応じてタダノ指定サービス工場での冷却系の清掃を行ってください。

アウトリガビームの縮小

アウトリガビーム1本の縮小の方法を説明しています。他のアウトリガビームの縮小の方法も同様です。

1. アウトリガビームのロックを解除します。
2. 別の人にアウトリガ作動油供給ボタンと作動油圧上昇ボタン2を押し続けてもらいます。
3. 選択したアウトリガビームが全縮するまで、ビーム縮小ボタンを押し続けます。
4. すべてのボタンを放します。
5. アウトリガビームをロックします。

⇒ 選択したアウトリガビームが縮小してロックされました。

アウトリガビームの伸長

アウトリガビーム1本の伸長の方法を説明しています。他のアウトリガビームの伸長の方法も同様です。

1. アウトリガビームのロックを解除します。
2. 別の人にアウトリガ作動油供給ボタンを押し続けてもらいます。
3. 選択したアウトリガビームが全伸長するまで、ビーム伸長ボタンを押し続けます。
4. すべてのボタンを放します。
5. アウトリガビームをロックします。

⇒ 選択したアウトリガビームが伸長してロックされました。

操作後の処置

1. 冷却系の後部点検カバーを閉じてロックします。

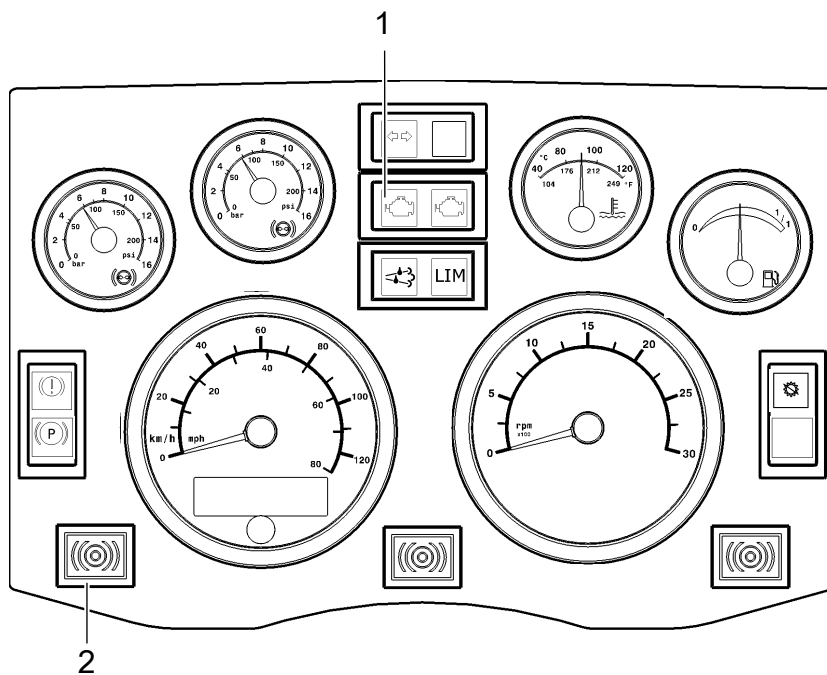
15.7 道路走行中に故障したとき

非常点滅灯を点滅させながら、安全な場所に移動します。

必要に応じて、停止表示板または停止表示灯を使用して後続車に知らせます。

15.8 エンジンに不具合が生じたとき

エンジンに故障が発生すると、エンジン故障警告灯が点灯し、エンジン故障警報ブザーが鳴ります。ただちに安全な場所に移動してエンジンを停止してください。




AJ90014-0

1	エンジン故障警告灯（緊急）	2	エンジン故障警報ブザー
---	---------------	---	-------------

- A：悪路（凹凸路、砂利道、未舗装路等）、雪道、多塵地帯の走行が走行距離の 15%以上。
- B：走行距離が多い。（目安：2,000km/月以上）。
- C：山道、登降坂路の走行が走行距離の 30%以上。
- D：発進、停止の繰り返しが多い、または低速走行が走行距離の 30%以上。
- E：公道以外で、道路走行車両重量状態を超えての走行が走行距離の 30%以上、またはその重量での規定推奨速度を超えて走行した場合。

16.6 定期交換部品

	⚠ 警告
	<p>定期交換を怠ると</p> <p>定期的な交換を怠ると、機械の故障や事故につながります。定期交換部品は決められた点検基準、交換時期で交換してください。</p>

機械の部品には、長期間使用しているうちに品質が劣化したり、摩耗したりする部品があります。これらの部品の中には、外観上異常がなくても、内部の劣化が進んでいるものもあります。機械を長く安全に使用するために、機能に異常がなくても、定期的に交換しなければならない部品を「定期交換部品」としています。

交換はタダノ指定サービス工場に依頼してください。定期交換部品は交換時期前であっても、異常が発見されたときは交換してください。交換時期はアワーメーターの時間、または期間のいずれか早い方で実施してください。

メンテナンスノートにも定期交換部品一覧が記載されていますが、メンテナンスノートに記載しているものはオールテレーンクレーン全般のものです。本機に該当する定期交換部品は、本項を参照してください。

安全上重要な役割を果たしている部品と交換時期を記載しています。

これらの部品は使用限度があり、内部からの劣化は点検できません。定期的な交換が実施されていないと重大事故につながる恐れがあります。また保証の適用外となる場合があります。適切な時期に交換してください。




点検整備項目		日常点検	点検整備時期			備考
			1か月ごと	3か月ごと	12か月ごと	
油圧発生装置	尿素SCR(*4)	○	○			
	AdBlueアキュムレータの圧力点検			○		装着車のみ
	DPF装置(*5)		○			
	作動油タンク	○				
	作動油の量	○	○			
	作動油の漏れおよび汚れ	○	○			
	フィルタの目詰まり		○			
	オイルの量		○			
	エアブリーザの目詰まり		○			
	取付部の緩み		○			
アウトリガ	異常振動、異音、異常発熱		○			
	緩み、油漏れ		○			
	亀裂、劣化、損傷		○			
	内箱、外箱	○	○	○		
	1.作動、損傷		○			
	2.曲がり、亀裂、打痕		○			
	ジャッキシリンダ（保持弁を含む）	○	○	○		
	1.作動、自然縮小、油漏れ		○			
	2.取付、損傷、自然降下、緩み		○			
	スライド装置（ロックピンを含む）	○	○	○		
1.作動、油漏れ		○				
2.取付、損傷、緩み、ロック機構		○				
操作ボックス	1.取付、作動、損傷、銘板の汚れ・剥かれ	○	○	○		
水準器	1.取付、指度、損傷、汚れ	○	○	○		
フロート	1.取付、亀裂、変形、汚れ	○	○	○		

		初回時期		100	300	600	1200	2400	点検	整備時期	備考
アウトリガ											
アウトリガの清掃と給脂	411 ページ			○					a	1カ月ごと	
アウトリガスライドプレート の点検と調整	411 ページ					○			c	1年ごと	
アウトリガシリンダの点検と調整	411 ページ					○			c	1年ごと	
ホースとケーブルの点検	411 ページ					○			c	6カ月ごと	
キャリヤ運転室											
ドアの保守	412 ページ						○		a	1年ごと	
フロントカバーの保守	414 ページ					○			a	1年ごと	
ジョイント、ヒンジ、およびすべての可動部に給脂	415 ページ					○			b	1年ごと	高圧洗浄機による洗浄作業後
フロントワイパーブレードの交換	415 ページ								b		必要に応じて早めに
エアコンの作動点検	416 ページ			○					a	1カ月ごと	冬場も定期的に
フィルタの点検	416 ページ			○					b	1カ月ごと	汚れが少ない場合は清掃
冷媒ガス量とガス漏れ	416 ページ						○		c	1年ごと	
エバポレータ点検、清掃	416 ページ						○		c	1年ごと	
コンプレッサ油量点検	416 ページ								c		コンプレッサ修理後、またはガス交換時
後方カメラの清掃	417 ページ								a		必要に応じて
その他の可動部											
ジョイント、ピン、ヒンジ、およびすべての可動部に給脂	418 ページ			○					a	2週間ごと	高圧スチーム洗浄の後は毎回

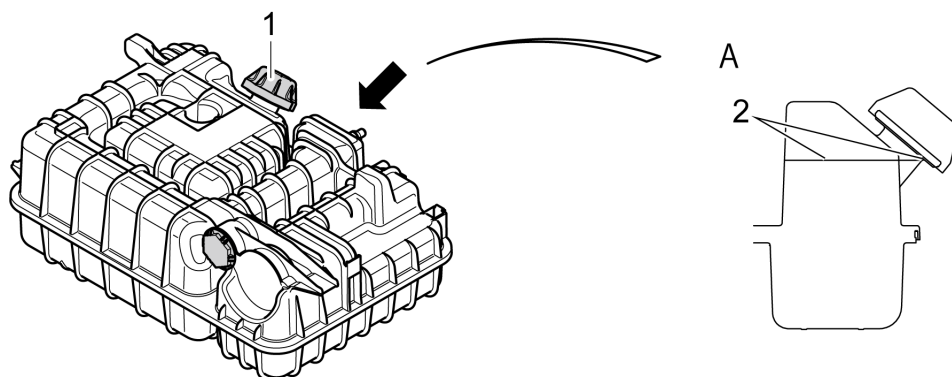
3. ピンが容易に挿入できるか点検します。
 4. スプリング部の固定力を点検します。
 スナップピンが留められている部品の穴から勝手に抜けないことを確認してください。
 固定力がなくなったスナップピンはすべて交換してください。
- ⇒ スナップピンの点検が終了しました。

16.11.2 燃料およびAdBlue

安全上の注意

	<p style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">⚠ 警告</p> <p>引火性の高い燃料による火災の恐れ</p> <p>火災が起きると、重大な人身事故や物損事故につながる恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 燃料を取り扱うときは、火気のない所で行ってください。
	<p style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">⚠ 警告</p> <p>燃料やAdBlueによる健康への悪影響</p> <p>燃料やAdBlueが目、粘膜、皮膚に触れると炎症を起こします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目に入った場合はすぐに水道水で十分に洗い流し、医師の診察を受けてください。 2. 飲み込んでしまった場合は口を水道水で十分にゆすぎ、医師の診察を受けてください。 3. 気化した燃料やAdBlueを吸い込まないようにしてください。 4. アレルギー反応が出た場合は、すぐに医師の診察を受けてください。 5. 安全上の詳細な注意については、エンジンメーカーの取扱説明書を参照してください。
	<p style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px;">注記</p> <p>適合しない燃料によるエンジンの損傷</p> <p>エンジンメーカーが承認した燃料以外は使用しないでください。</p>

各部の名称



AJ10299-1

A	冷却水タンク断面図	1	補給口キャップ
		2	補給口の下端（冷却水の液面）

冷却水量と冷却水の点検

1. キャップ、およびキャップ周辺をきれいにします。
 2. キャップをゆっくり開けて、余分な圧力を抜きます。圧力が抜けたら、キャップを開けて外します。
 3. 冷却水の量を点検します。
冷却水の液面が補給口の下端まであれば十分です。
 4. 必要に応じて適切な混合比の冷却水を補充します。冷却液の仕様と混合比については、別冊のエンジン取扱説明書を参照してください。
 5. 冬期になる前に、冷却水中の不凍液成分が十分か点検します。
 6. 補給口にキャップを取り付けて締めます。
- ⇒ 冷却水量と冷却水の点検が終了しました。

注記! 冷却水を補給しても短時間で減少するときは、タダノ指定サービス工場に相談してください。

イグニッションをOFFにしての自主点検

以下の機能点検を連続して行ってください。必要に応じてキャリヤの前後に点検者を配置してください。

1. 非常点滅灯
2. 駐車灯
3. パッシング点灯

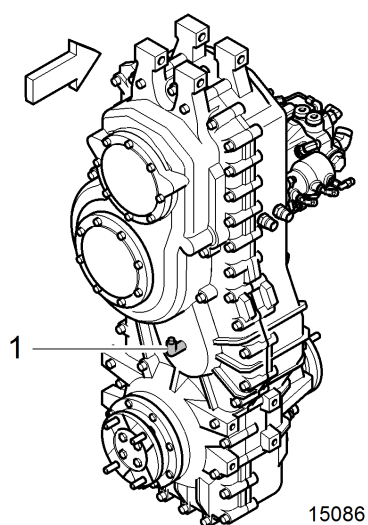
イグニッションをONにしての自主点検

以下の機能点検を連続して行ってください。必要に応じてキャリヤの前後に点検者を配置してください。

1. ロービームスイッチ
2. ハイビームスイッチ、ハイビームアイコンが表示されているか
3. 方向指示器スイッチ、方向指示表示灯が点灯しているか
4. フォグランブスイッチ、フォグランブアイコンが表示されているか
5. リヤフォグランブボタン、リヤフォグランブアイコンが表示されているか
6. ホーンボタン
7. フロントワイパー/ウォッシャースイッチ
8. 風量調節スイッチ
9. 温度調節スイッチ

16.11.19 トランスファエアブリーザの点検

各部の名称






1	トランスファのエアブリーザ
---	---------------

16.13 エンジン関連

16.13.1 エンジン

安全上の注意

	⚠ 警告
	<p>高温のエンジン部品でやけどを負う恐れ</p> <p>高温のエンジン部品に触れると、重度のやけどを負う恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高温の物には触れないでください。 2. 保護手袋と防護服を着用してください。
	<p>液体漏れによる環境汚染</p> <p>シール材に漏れがあると、予期せぬ液体漏れが起きる恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 漏れがあるシール材は交換してください。 2. こぼれた液体は環境を汚さない方法で速やかに除去してください。
	<p>使用済みのオイルやオイルフィルタによる環境汚染</p> <p>使用済みのオイルやオイルフィルタは環境に有害です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用済みのオイルは適切な容器に回収してください。 2. 使用済みのオイルやオイルフィルタの処理は環境を汚さない方法で行ってください。

ホースおよびホースクランプの点検

点検手順については、整備担当者の点検・整備の [ホースおよびホースクランプの点検](#) [425 ページ] を参照してください。

エンジンオイル、オイルフィルタカートリッジの交換

交換手順については、整備担当者の点検・整備の [エンジンオイル、オイルフィルタカートリッジの交換](#) [428 ページ] を参照してください。

エンジnbrakeの点検

必要条件

- キャリヤエンジンがかかっている
- キャリヤを走行させても差し支えない場所がある


16.16.4 ブレーキシステム


エアドライヤの機能点検

点検手順については、整備担当者の点検・整備の [エアドライヤの機能点検 \[▶ 464 ページ\]](#) を参照してください。

ブレーキパッドの点検

安全上の注意

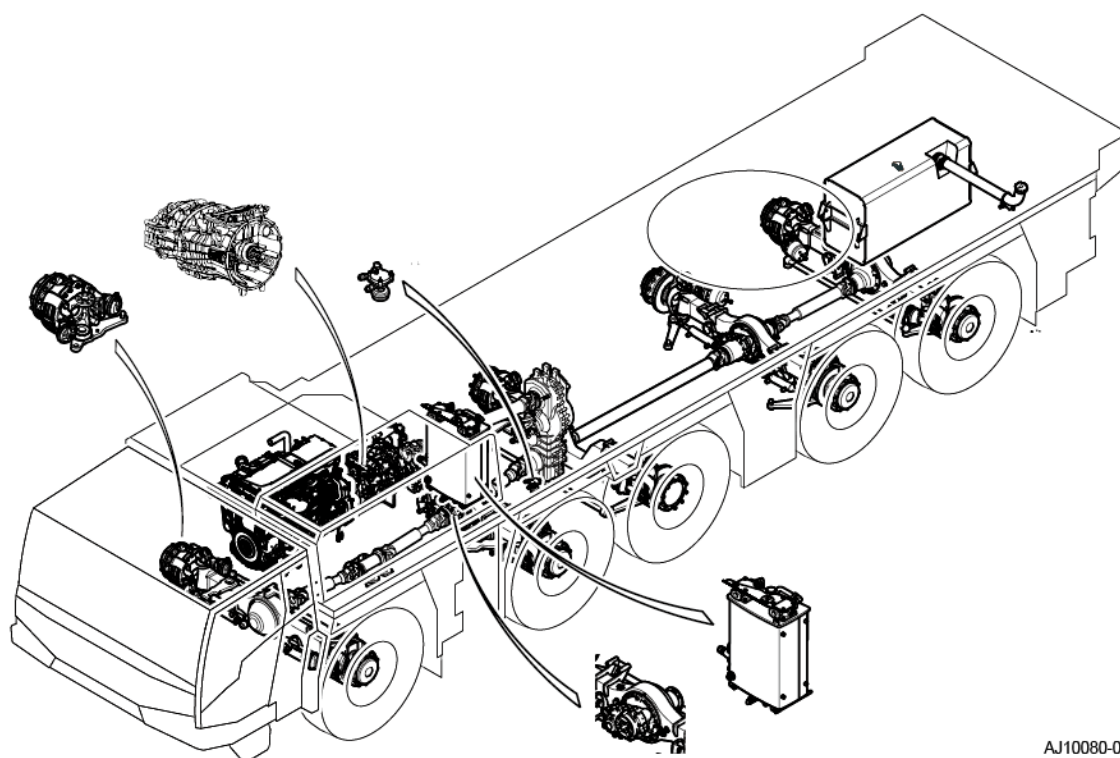
	⚠ 警告
	<p>ブレーキパッドが摩耗すると事故の恐れ</p> <p>ブレーキパッドが摩耗すると、制動力が落ちたりブレーキが故障したりして人身事故や物損事故の恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ブレーキパッドは定期的に点検してください。2. ブレーキパッド警告アイコンの表示に注意してください。

	注記
	<p>塗装されたエアブリーザによる損傷</p> <p>エアブリーザが塗装されると機能しなくなることがあります。塗装されたエアブリーザを付けた機器が損傷する恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 塗装作業の前にエアブリーザに覆いをしてください。 2. 塗装作業が終わったら覆いを外してください。 3. エアブリーザの作動点検を行い、必要なら交換してください。
i	<p>エアブリーザの清掃および交換はタダノ指定サービス工場で行ってください。</p>

16.19.3 必要条件

- 本機が平坦な地面に水平に駐車している
- 本機が逸走しないよう歯止めをしている
- エンジンとイグニッションがOFF

16.19.4 取り付け場所



AJ10080-0

16.22 キャリヤ運転室

16.22.1 概要

必要条件

- 本機が平坦な地面に水平に駐車している
- 本機が逸走しないよう歯止めをしている
- エンジンとイグニッションがOFF

本項では重要機器の整備についての指示を記載しています。点検・整備時期に合わせて行ってください。

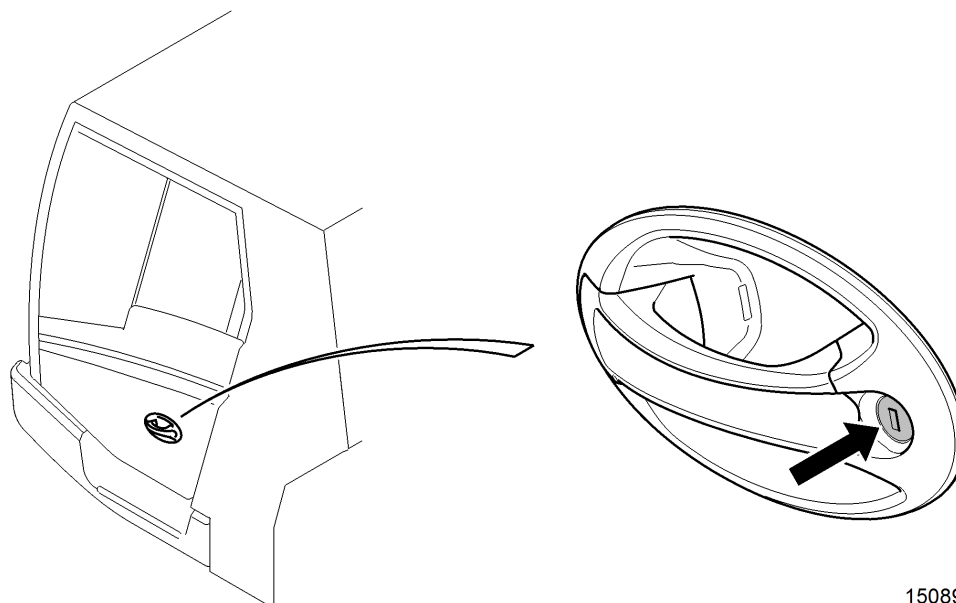
本項では以下の機器について説明します。

- [キャリヤ運転室のドアとフロントカバー](#) [▶ 412 ページ]
- [ウォッシャー装置](#) [▶ 415 ページ]
- エアコン
- [後方カメラの清掃](#) [▶ 417 ページ]

16.22.2 キャリヤ運転室のドアとフロントカバー

ドアの保守

ドアロックおよびキーシリンダの保守



15089

16.26 サスペンション

16.26.1 サスペンションシリンダのブーツの点検

点検手順については、整備担当者の点検・整備の [サスペンションシリンダのブーツの点検](#)
[▶ 490 ページ]を参照してください。


1. 点検カバーを開けます。
 2. オイル給油口の周辺をきれいにします。
 3. 給油口のキャップを外します。
 4. 給油口からエンジンオイルを入れます。
給油するエンジンオイルについては、[油脂量](#) [▶ 492 ページ]を参照してください。
 5. 給油口にキャップを取り付けます。
 6. アクセルペダルを踏まずにエンジンを始動し、アイドリング回転のままにします。
 7. 警告アイコンを調べます。エンジン油圧およびエンジン故障を示すアイコン、およびメーターパネルの集中警告灯が消灯していることを確認します。
 8. エンジンを停止します。
 9. 給油口のキャップとドレインバルブに漏れがないか点検します。
 10. 約5分後に油量を点検します。[エンジンオイル量の点検](#) [▶ 358 ページ]を参照してください。
 11. 必要に応じてエンジンオイルを追加します。
 12. 点検カバーを閉めます。
- ⇒ エンジンオイルが給油されました。

点検後の処置

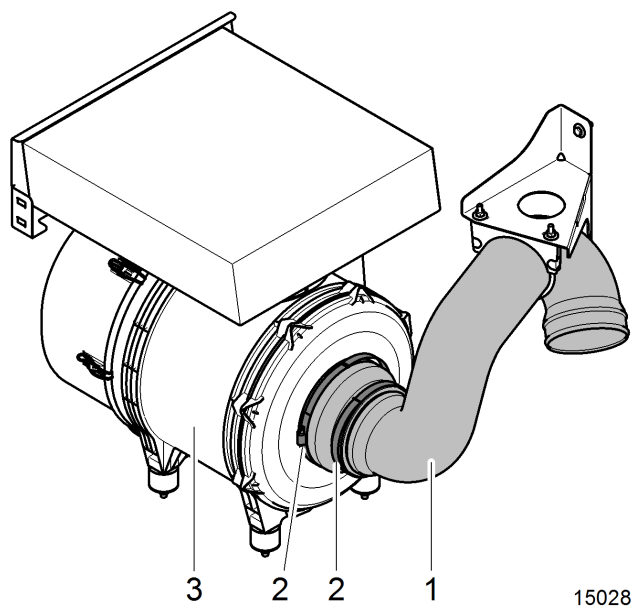
1. ブームを下げます。

17.2.2 エンジン冷却システム

安全上の注意

	<p>⚠ 警告</p>
	<p>高温の冷却水でやけどを負う恐れ</p> <p>ラジエータキャップを開けると、高温の冷却水が噴き出して皮膚や目にやけどを負う恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保護眼鏡を着用してください。 2. 保護手袋と防護服を着用してください。 3. 冷却水の温度が50°Cを下回るまではキャップを開けないでください。

各部の名称




1	エアインテークホース	3	エアクリーナハウジング
2	ホースクランプ		

エアクリーナ系を点検する

1. 右側の点検カバーを開けます。[点検カバーの開閉 \[▶ 344 ページ\]](#)を参照してください。
2. エアインテークホースに損傷がないか、固定されているかを確認します。
3. ホースクランプに緩みがないか点検します。
4. エアクリーナハウジングに損傷や汚れがないか点検します。

17.4 駆動システム


17.4.1 安全上の注意


	⚠ 注意
	<p>高温のオイルや機器でやけどを負う恐れ</p> <p>高温のオイルや高温の部品に触れると、やけどを負う恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 点検は油温が50°Cを下回ってからにしてください。 2. 高温の部品には触れないでください。

17.4.2 トランスミッション

トランスミッションの油量点検

安全上の注意

	注記
	<p>油量が不適切だと損傷</p> <p>油量不足または油量過多は故障やオーバーヒートの原因になります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 油量は定期的に点検してください。

	注記
	<p>汚れたオイルによるトランスミッションの損傷</p> <p>汚れたオイルを使用していると、トランスミッションに異物が入り重大な損傷が起きる恐れがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オイルの保管や給油にはきれいな容器を使用してください。 2. 不凍液や冷却水の保管や給油に使った容器を使い回さないでください。

必要条件

- 本機が平坦な地面に水平に駐車している
- 本機が逸走しないよう歯止めをしている
- エンジンとイグニッションがOFF



注記

油量が不適切だと損傷

油量不足または油量過多は故障やオーバーヒートの原因になります。

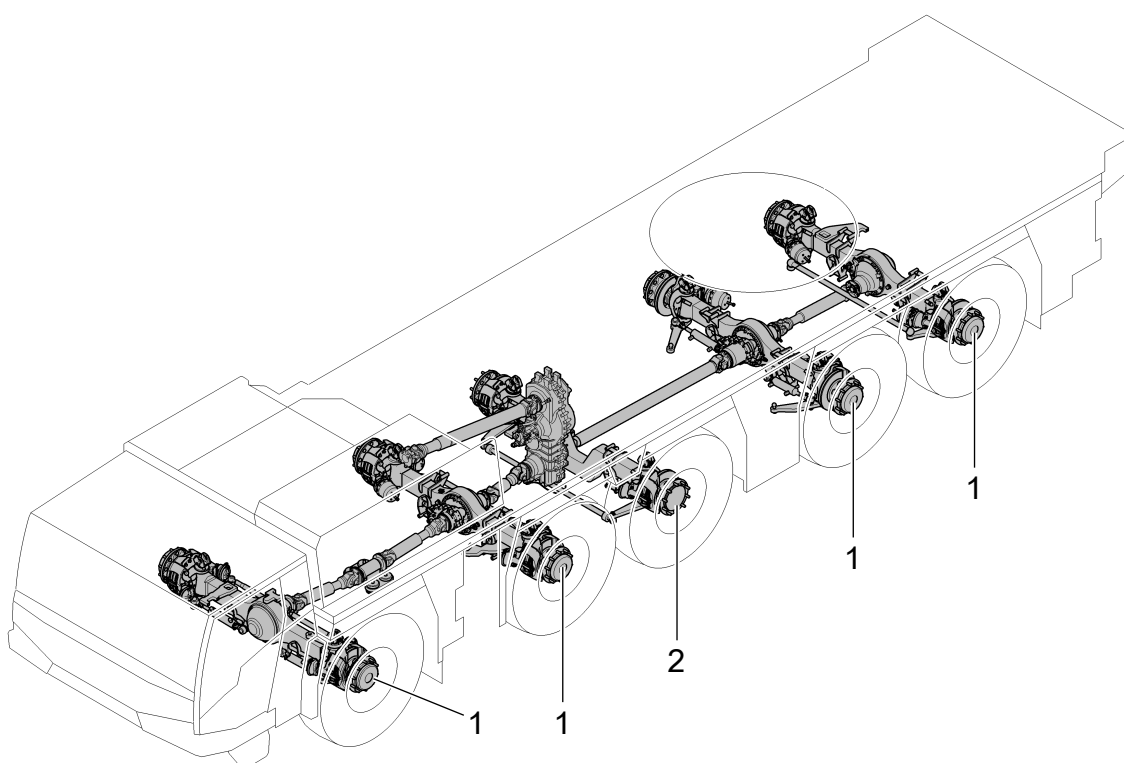
1. 油量は定期的に点検してください。

ホイールハブの油量点検

必要条件

- 本機が平坦な地面に水平に駐車している
- 本機が逸走しないよう歯止めをしている
- エンジンとイグニッションがOFF
- パーキングブレーキが解除されている
- すべての車輪が地面から浮いている
- 本機がアウトリガで支持されている
[アウトリガ操作 \[▶ 164 ページ\]](#)を参照してください。


取り付け場所



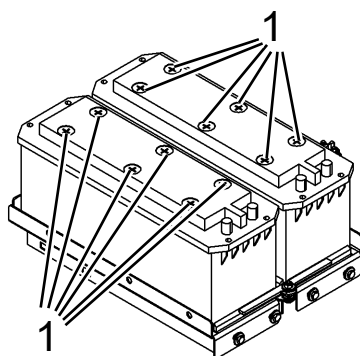
1	駆動軸	2	非駆動軸
---	-----	---	------

17.7.3 バッテリー液量の点検

安全上の注意

	⚠ 警告
	<p>バッテリーの液漏れによる化学熱傷の恐れ</p> <p>バッテリーには皮膚、眼、粘膜に接触すると重大な障害を起こすガスおよび液体が入っています。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 保護眼鏡と耐酸性安全手袋を着用してください。2. 眼や皮膚に触れた場合は、すぐに大量の流水で洗い流してください。3. 洗浄した後、医師の診察を受けてください。

各部の名称



1	キャップ (12本)
---	------------

バッテリー液量の点検

1. キャップをすべて外します。
 2. バッテリー液量を点検します。
液面が極板の約10～15 mm上にあれば正常です。
不足しているときは、バッテリー補充液または蒸留水を追加してください。
 3. キャップをすべて締め込みます。
- ⇒ バッテリー液量の点検が終了しました。

17.9 キャリヤ運転室

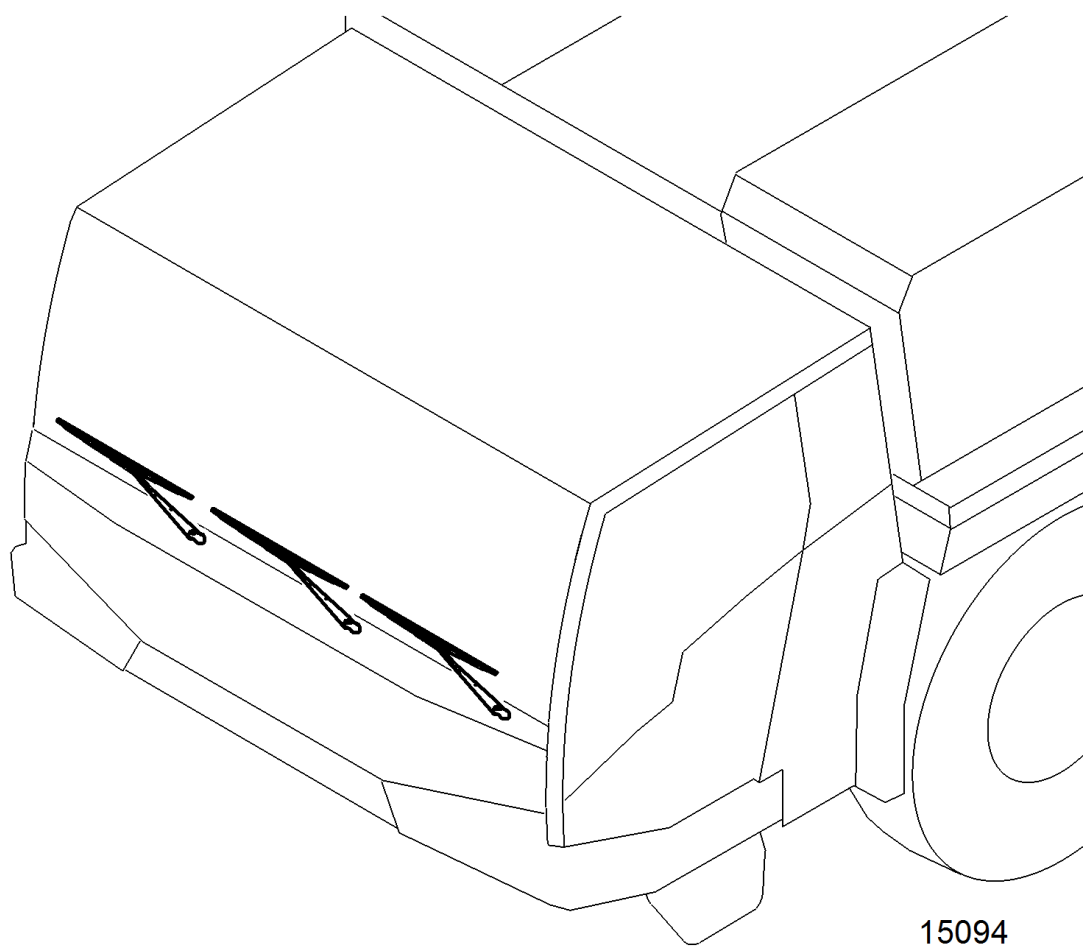
17.9.1 ジョイント、ヒンジ、およびすべての可動部に給脂

キャリヤ運転室にあるジョイント、ヒンジ、およびその他可動部に給脂してください。

17.9.2 ウォッシャー装置

フロントワイパーブレードの交換

取り付け場所



キャリヤフロントガラスには、3本ワイパーブレードがあります。

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL